

単元名 考えたことを書き、読み合おう

配当時間 12時間

単元の目標 (1) 主語と述語の関係、修飾語と被修飾語の関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。
 (2) 相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にするとともに、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係も明確にして、書き表し方を工夫することができる。
 (3) 調べたことを基に自分の考えを書き、読み合って、文章に対する感想や意見を伝え合おうとする。

標準的な展開例

04010306_001

【教材名】もしものときにそなえよう (下 P.105～P.111)

【準備等】知多の友、百科事典、図鑑、国語辞典、清書用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 学習の見通しをもつ。 ★もしものときの備えについて考えたことを書き、読み合おう。 ○学習課題をつかむ。 ○学習の見通しをもつ。 ○「もしものとき」には、どんなことがあるか話し合う。</p> <p>2～4 テーマを決めて調べる。 ★テーマを決めて、調べよう。 ○テーマを決める。 ・台風 ・大雨 ・大雪 ・かみなり ・じしん ・つなみ など ○テーマに合った方法で調べる。 ・本や図鑑 ・関係する施設に行く ・インターネット ・詳しい人に聞く</p> <p>○気になったことや分かったことを知多の友 (P.52～53) に書き出す。</p> <p>5 調べたことを整理する。 ★調べたことを整理しよう。 ○読む人にとって役立つかどうかを考えて、内容ごとに分類する。</p> <p>6～7 文章の組み立てを考える。 ★組み立てを確かめよう。 ○教科書 (P.108～109) を読み、自分の考えを伝えるための書き方の工夫を見つける。 ○知多の友 (P.55) に大まかな組み立てを考えて書く。</p> <p>8～10 自分の考えをまとめた文章を書き、書いた文章を読み返す。 ★考えを伝える文章を書こう。 ○自分の伝えたいことが伝わるように、組み立てを意識しながら文章を書く。</p> <p>○書いた文章を声に出して読み、読みづらいところがないか確かめる。 ○清書する。</p> <p>11～12 文章を読み合い、感想を伝える。 ★文章を読み合い、感想を伝えよう。 ○書き手が伝えたいことを考えながら読み、感想を伝え合う。 ○「ふりかえろう」を読み、学習の振り返りをする。</p>	<p>・本単元は、「知多の友」に掲載されているので、十分に活用したい。</p> <p>・教科書 (P.6) 「たしかめよう」で、既習事項を振り返らせる。 ・知多の友 (P.50) の学習の手順を読み、見通しをもたせる。</p> <p>・知多の友 (P.51) を活用する。</p> <p>・関係する施設に行ったり、詳しい人に聞いたりする場合は事前に了解を得ておく。 ・図書館司書の協力を得られるとよい。図書館の利用の仕方やマナーについても確認しておく。 ・分からない言葉は国語辞典で調べさせる。 ・出典についても明記させる。 【評】調べたことを書き出す活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・教科書 (P.9) 「分ける・くらべる」を参考にする。 ・知多の友 (P.54) を活用する。 【評】内容ごとに分類する活動を通して、目的を意識して比較・分類する「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・「初めー中ー終わり」の組み立てを、押さえる。</p> <p>・知多の友 (P.56～57) を活用する。 【評】伝えたいことが伝わるように書く活動を通して、書き表すことを工夫する「思考・判断・表現」を評価する。 【評】考えを伝える文章を書く活動を通して、段落の役割について理解する「知識・技能」を評価する。 ・知多の友 (P.58) の推敲のポイントを参考にするとよい。</p> <p>・気になったことや、詳しく知りたいことは質問させる。 ・知多の友 (P.59) を活用する。 ・「たいせつ」「いかそう」を読み、身に付けた力を押さえる。</p>

【 備 考 】